

代表質問

# カーボンニュートラルに向けた取り組みは

地域特性を生かした持続可能な取り組みを進める



やなぎもと ひろき  
柳元 浩幸  
市民クラブ



## 令和8年度施政方針の重点施策について

**問** 子育て支援について、取り組みの方向性は。  
**答** 保育士の確保は喫緊の課題であると認識しており、引き続き民間園との連携強化などにより保育の受け皿確保に努めるとともに、保育サポーターの任用などにより保育業務の負担軽減を進め、保育の量と質の両立を図っていく。

**問** 定住・移住を促進するためには、魅力的な住環境の整備が必要と考えるが、市の考えと方向性は。  
**答** 民間事業者による未利用地などの土地開発を促進することが必要であると考えており、市街化区域の居住誘導区域内や、鉄道の神戸駅の近くで生活利便性が高い市街地編入候補地である天白地区において、住宅地の確保を進めていく。また、田原市街地内の大規模な低未利用地におけるアパートやマンションなどの整備や誘致について、市の組織を強化し検討していく。

**問** カーボンニュートラルに向けた取り組みの方向性は。  
**答** 本市では、地域特性を生かした持続可能な取り組みを進めている。特に、豊かな自然環境を活用した再生可能エネルギーの導入促進や、省エネルギー対策を推進するとともに、新たなエネルギー資源として期待される水素やアンモニアなどの利活用について、関連企業や中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議に加盟する自治体との連携を図っている。また、地域資源を活用した循環型社会の構築にも取り組んでおり、低炭素社会の実現に向けた基盤整備を進めている。これらの具体的な施策により、地域全体で持続可能な未来を実現することを目指していく。

本市では、地域特性を生かした持続可能な取り組みを進めている。特に、豊かな自然環境を活用した再生可能エネルギーの導入促進や、省エネルギー対策を推進するとともに、新たなエネルギー資源として期待される水素やアンモニアなどの利活用について、関連企業や中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議に加盟する自治体との連携を図っている。また、地域資源を活用した循環型社会の構築にも取り組んでおり、低炭素社会の実現に向けた基盤整備を進めている。これらの具体的な施策により、地域全体で持続可能な未来を実現することを目指していく。



**問** 小中学校のいじめ対策について  
**答** いじめ対策の現状と今後の方向性は。田原市いじめ防止基本方針に基づき、道徳教育や児童生徒が居心地の良さを感じられる学級づくりによる未然防止、アンケートやICT端末を使った心身の健康観察の導入等による早期発見、専門家配置や相談窓口との連携等、重層的な支援体制を構築している。また、弁護士や医師らによる調査委員会を設置しており、重大事案には客観的な調査体制を整備している。今後は、関係部局や児童相談所、警察との連携を図り、コミュニケーション・スクールの仕組みも活用した地域ぐるみの見守り体制を強化していく。

**問** アンケートなどのデータをAIが解析し、予兆を検知する仕組みの導入についての見解は。  
**答** 現時点では外部委託の心理検査で十分と考えているが、AI技術の進展や他自治体の事例を踏まえ、必要に応じて研究していく。

**現状は**  
田原市いじめ防止基本方針に基づき対応している



まの ひさかつ  
真野 尚功  
自由民主党田原市議団

